

広報

# かわち

発行所 河内村役場 編集 産業開発課企画係 TEL河内02978-4-2111~3  
発行日 昭和50年4月15日 印刷所 竜ヶ崎印刷所

人口と世帯  
人口 …… 12,133人  
男 …… 5,753人  
女 …… 6,380人  
世帯 …… 2,561  
(4月1日現在)



農業後継者育成が叫ばれはじめてから10余年、しかし、これまでの経済高度成長の陰に、それも薄れがちでした。

人口増加にともない、世界的な食糧不足が深刻になると見られる昨今、そして農業があらためて見直されつつあるとき若い後継者がますます必要になると思われます。

ここに紹介する桜井一哉君(22才、下金江津)は、機械化された現代農業において、米作だけの農業では……と耕地34の農家の後継者として、数年前より酪農にも真剣にとりこんでいます。

1975

4月号

No.97

# 昭和五十年年度

## 一般会計 水道会計 予算は暫定予算で

### 第1回定例会から

昭和五十年年度一般会計予算などを決める第一回定例会が三月十二日から三日間開かれ、新年度各会計予算、条例改正など十七議案が審議された結果、それぞれ原案どおり可決されました。

なお、一般会計予算については別掲の「暫定予算の説明」にあるようなことから新年度は四ヶ月の暫定予算とされましたので、今回は掲載せず本予算決定の時点でお知らせいたします。

### 暫定予算説明

昭和五十年年度は、六月に任期満了に伴なり村長選挙が行なわれる予定であり、また、新東京国際空港の十二月開港予定に伴なり小、中学校、保育所等の防音装置、校舎の新増、改革事業が予測され、国庫補助金、起債等の財源確保はあるものの、一般財源の持ち出しはほのう大なものとなり、これ等事業を施行する場合は極めて困難な財政事情であり、事業の融資対策については、関係各課に増額融資を以下関係各課に増額融資を陳情（及び要請）し、県との話し合いの結果は、予算

給与水準と職員数の適合化により、人件費の増加の抑制に特段の努力を傾注することに努めなければならぬと思います。

以上のような趣旨に基づき、暫定予算編成に当たっては弾力的運営がなされるよう次の点に留意しました。

(1) 五十年年度の経済情勢は厳しものと思われ、その中でも、その推移と地方財政に与える影響について十分留意し、河内村の实情に即して機動的、弾力的な財政運営が行なわれるよう配慮しました。

(2) 地方税の徴収を確保、

### 国保会計

#### 事業勘定

近年における医療費の値上りと高額療養費等の保険給付の増大を伸び率を考慮し、前

(才入) 国保事業勘定 (単位千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
国民健康保険税	108407	80669	28738
使用料及び手数料	12	12	0
国庫支出金	158553	127520	31033
県支出金	252	182	70
繰入金	8300	4000	4000
繰越金	2344	2242	102
諸収入	111	101	10
才入合計	278679	214726	63953

(払出)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
総務費	15521	11177	4344
保険給付費	257247	198512	58735
保健施設費	2891	2017	874
諸支出金	20	20	0
予備費	3000	3000	0
才出合計	278679	214726	63953

(才出)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
総務費	29189	24935	4254
医療費	8345	8795	△450
予備費	200	200	0
才出合計	37734	33930	3804

年より六三、九五千円増の二七八、六七九千円を計上いたしました。

款別には別表のとおりとなります。

直施設勘定

総額三七、七三千元で前年より三、八〇四千元の増、才入は診療収入三三、〇九八千円、使用料及び手数料九六千円、繰入金（一般会計より）四、〇〇〇千円、諸収入五四〇千円が計上されており、才出では、総務費二九、一八九千円、医療費八、三四五千円、予備費二〇〇千円が計上されています。

(才入)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
診療収入	33098	32385	713
使用料及手数料	96	60	36
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
繰入金	4000	800	3200
繰越金	0	85	△85
諸収入	540	600	△60
才入合計	37734	33930	3804

#### 直施設勘定

執行面において暫定予算を執行することが適当であるとの合意に達したため、この四ヶ月の暫定予算（経常的経費を重点事項として）を編成しました。

暫定予算は、会計年度中の一定期間のつなぎ予算とし、本予算が成立するまでの間の行政の中断を防ぐためのものであります。これに計上される費目は義務的性質に限定されます。暫定予算は、本予算が成立したとき本予算に吸収され、暫定予算はなくなるようになります。

従って、本予算の編成に当たっては地域住民の生活安定と福祉の充実に配慮しつつ、国と同一の基調により才出を極力圧縮するとともに、財源の重点配分と経費の効率化を図ることになり、財政の健全性と弾力性を確保し、特に政府の公共事業の抑制に対応して、財政全般について徹底的に洗い直し、補助金等の整理、庁費旅費等の節約と合理化を図り

使用料、手数料等の適正化等を推進し、財政収入の確保を図るとともに、財政構造、財源構成、公債費の推移等を配慮し地方債の適正な運営を図ることとし、(3) 財源の重点配分と経費支出の効率化に徹することとし、道路補助事業、四十九年度に申請済の長年保育所建設事業、霞ヶ浦常南流域下水道事業（村負担分）学校橋取付道路補助事業を計上するにとり、政府の総需用抑制の方針に対応して極力抑制の措置を講ずることになりました。

(4) 他会計繰出金については、独立採算の原則から考え、独立採算に繰出すことは出来ないものであり、暫定予算においてはそれに見合う繰出金で村民全体の福祉の向上を目的としたものであります。

(5) 防音校舎、小、中学校保育所等の事業取扱いについては、各関係官庁、各種団体、住民の意志意向を尊重し、確定財源を保って事業を施行することにしたもので、事業施行に当たっては事故のないよう各事業について設計委託料のみ計上し遺憾のないよう留意いたしました。

以上

給食センター特別会計

(才入) (単位千円)

款	本予算	年度額	前年度額	比較
繰入金	46700		31300	15400
繰越金	1		1	0
諸収入	43544		38050	5494
才入合計	90245		69351	20894

船橋特別会計予算

(才入) (単位千円)

款	本予算	年度額	前年度額	比較
県支出金	14611		5480	9131
繰越金	1		0	1
才入合計	14612		5480	9132

農工導入特別会計

(才出)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
総務費	46500	31100	15400
給食費	43545	38051	5494
子備費	200	200	0
才出合計	90245	69351	20894

(才出)

款	本予算	年度額	前年度額	比較
常総船橋費	14612		5480	9132
才出合計	14612		5480	9132

(才入) (単位千円)

款	本予算	年度額	前年度額	比較
財産収入	310898		365114	△54216
村債	0		371000	△371000
才入合計	310898		736114	△425216

(才出)

款	本予算	年度額	前年度額	比較
開発費	6898		413284	△406386
公債費	304000		322830	△18830
才出合計	310898		736114	△425216

この他に議決されたものは、四ページに掲載します。

# 標準小作料

## 一万七千円に

十アール当りの標準小作料  
が、昭和五十年十月一日から  
田が一七、〇〇〇円(畑は定  
めなし)と定められました。  
なお、昭和四十五年十月一  
日からの昭和五十年九月三十日  
までの契約については

田(上) 一五、三〇〇円  
(中) 一三、三〇〇円  
(下) 一一、三〇〇円  
畑 定めなし

また、昭和四十五年九月三  
十日以前に契約したもの(統  
制小作料)については、一等  
が二、一五三円、二等が二、  
四〇〇円、畑は二、〇

五五円、三等が二、四〇〇円、畑が二、一五八円と定められています。  
なお、くわしくは農業委員  
会事務局まで。  
三ページよりつづく

昭和四十九年度河内村一般  
会計補正予算  
才人村追加それぞれ三七、一  
九六千円をそれぞれ、最終予算  
は八五八、七三二千円となり  
ました。



### 新議長に 福智 栄氏

三月十二日に開かれた昭  
和五十年度第一回定例会村議  
会の席上において、議長交  
替が行なわれ新議長に福智  
栄氏が選任されました。  
(村議三期) 消防団長、  
土地改良区理事)

千円、国保会計へ繰入金八、  
一八七千円(事業勘定一、三  
八五千円、直診施設六、八〇  
二千円)農道舗装設置補助  
二、二二〇千円、金小通学路  
生小プール埋立、長小敷地理  
立工事費四、二〇一千元、中  
央公民館床張替工事代二、五  
〇〇千円などです。

これに見合う才人として村  
民税一三、四八二千円、地方  
交付税一六、六九九千円、県  
支出金五、〇〇〇千円などを  
見込まれております。

昭和四十九年度河内村農村  
地域工業導入促進特別会計補  
正予算  
総額から六五八、九四四千  
円を減額補正するもので、宅  
地造成費で三五五、三五四  
千円、公債費で三〇三、五九〇  
千円減額しました。

(議案第九号)  
昭和四十九年度河内村国民  
健康保険特別会計補正予算  
事業勘定では二、七七〇千  
円増額、これは妊産婦医療費  
と高額療養費に不足を生じた  
ためのも。

直診施設勘定では六、八〇  
二千円増額、これは診療収入  
で大中を減額を生じたための  
もの。(議案第四号)

昭和四十九年度河内村常総  
船橋事業特別会計補正予算  
才人村追加それぞれ三三八千  
円を追加、総額一〇、八九〇  
千円となりました。

(議案第五号)  
昭和四十九年度河内村簡易  
水道事業会計補正予算  
水道事業予算で四四四千元を追  
加、総額四一、九七七千円と  
なりました。

(第四、五号とも人件費の  
増によるもの)  
(議案第六号)  
河内村特別職の職員給与  
並びに旅費及び費用弁償に関  
する条例の一部を改正する案  
例

教育委員、各種審議委員、  
区長、調査員、投、開票管理  
者及び立会人等の報酬を五十  
年四月一日からアップするも  
のです。

(議案第七号)  
河内村消防団条例の一部を  
改正する条例  
消防団の役員及び団員の年  
額報酬と出場費用、訓練費用  
を五十年四月一日からアップ  
するもの(議案第八号)

河内村職員の休日及び休暇  
に関する条例の一部を改正す  
る条例  
職員の私事による負担又は

疾病のため療養を要する場合  
の療養休暇を、一年以内にお  
いて必要と認めることができ  
るようになりました。  
(議案第十五号)  
救急業務に関する事務の委  
託の廃止について  
竜ヶ崎市へ委託していた救  
急業務に関する事務の委託を  
昭和五十年三月三十一日をも  
って廃止する。

(議案第十六号)  
固定資産評価審議委員会委  
員の選任について  
大野忠(生板、宿)氏が選  
任されました。

(議案第十七号)  
公用地の廃止について  
長竿四五五九番地先から四  
五七六番地まで八七mの村道  
を廃止したもの。  
なお、議案第九号昭和五十  
年度一般会計暫定予算、議案  
第十号昭和五十年河内村農  
村地域工業導入促進事業特別  
会計予算、議案第十一号昭和  
五十年河内村国民健康保険  
特別会計予算、議案第十二号  
昭和五十年河内村常総船橋  
事業特別会計予算、議案第十  
三号昭和五十年河内村簡易  
水道事業特別会計暫定予算、  
議案第十四号昭和五十年河  
内村学校給食センター特別会  
計予算は別掲のとおり。

# 東部工業団地竣工

## 三社を誘致

農業地域工  
業業(鉄工業)も三社の誘  
致が決っております。

業導人促進法  
に基づき、金  
江津地区に造  
成中であつた  
東部工業団地  
の敷地がこの  
ほど完成、三  
月十一日に金  
中体育館にお  
いて、土地提  
供者、協力者  
及び県議員、  
隣接町村長を  
招き竣工式が  
行なわれまし  
た。



東部工業団地

敷地総面積六万五千平方  
米  
総事業費四億四千万円で、新  
日本工務(佐製造)フアイ  
ン・ケム・コスメテック製  
造(化粧品製造)、志村金属  
四議員で

## 五十万円寄付

### 教育設備費の一部に

秋山千晴、岡野四郎、雑賀  
正幸、桜井信三さんの四議員は  
去る二月に支給された議員報  
酬の差額金の中から、一人十  
二万五千円づつを出し合つて  
「村の教育設備の費用に」と  
寄付されました。



秋山千晴、岡野四郎、雑賀正幸、桜井信三さんの四議員は去る二月に支給された議員報酬の差額金の中から、一人十二万五千円づつを出し合つて「村の教育設備の費用に」と寄付されました。

## 鈴木克己さん

県の行政全般についての要  
望、意見、苦情などを聞いて  
その改善をはかるため県と地  
元のパイプ役をつとめてくれ  
る県政モニ  
ターに鈴木  
克己さん(電  
保村上、電  
話四局二〇  
〇七番)が選任されました。  
※ 県が積極的に取り組まな  
ければならない施策

## 金江津農協の

# 野菜集荷所完成

稲作転換特別対策事業の一  
つとして金江津農協が建設中  
だつた野菜集荷所がこのほど  
完成し、三月二十八日に青年  
研修所において竣工式が行な  
われました。



建物面積二二六一八平方  
米

総工費一、〇六五、〇〇〇  
円で、利用戸数九五戸、四七  
ヘクタールに栽培された野菜  
の集、出荷が取り扱われる  
ことになりました。

「総理府統計局」の文字  
を必ず入れること。

④ 応募者の住所、氏名を裏  
面に必ず記入すること。

小、中学生の場合は学校名  
学年も記入すること。

⑤ しめきりは、昭和五十年  
五月二十六日(月)です。

(当日消印有効)

### ② 賞金と賞品

#### 総理府統計局では、

本年十月一日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

# 50年国調 ポスターを募集

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

計局では、  
本年十月一  
日に行なわれ  
る国勢調  
査の広報の  
ため、次の  
要領でポス  
ターと標語  
を募集しま  
す。ふるつ  
てご応募く  
ださい。

① 甲紙規格はA二判(四二  
〇ミリ×五九四ミリ)又は、  
B二判(五一五ミリ×七二八  
ミリ)

② 色彩は自由です

③ 原図は「国勢調査」、  
昭和五十年は、「十月一日  
(次ページ最下段へ)

### ●ポスター

#### (1) 応募要領

① 甲紙規格はA二判(四二  
〇ミリ×五九四ミリ)又は、  
B二判(五一五ミリ×七二八  
ミリ)

② 色彩は自由です

③ 原図は「国勢調査」、  
昭和五十年は、「十月一日  
(次ページ最下段へ)

④ 応募者の住所、氏名を裏  
面に必ず記入すること。

小、中学生の場合は学校名  
学年も記入すること。

⑤ しめきりは、昭和五十年  
五月二十六日(月)です。

(当日消印有効)

② 賞金と賞品

① 一般の部

特選一名 総務長官賞  
副賞二十五万円  
入選一席一名 副賞 十五万円  
二席一名 副賞 五万円

#### (2) 中学生の部

特選一名 総務長官賞  
副賞 ラジオ付カセット  
トテープレコー  
ダー

入選一席 三名  
副賞 写真機

二席 十名  
副賞 国語大辞典

③ 小学生の部

特選一名 総務長官賞  
副賞 顕微鏡

入選一席 三名  
副賞 トランジスタ  
ラジオ

二席 十名

(次ページ最下段へ)

# 松くい虫の予防を

あなたの枯れた松が、ふりましよう。大切に守るさとの緑をだいなしにしています。マツノマダラカミキリが、枯れた松から、健康な松に侵入し枯れます。

## 電気器具の消し忘れは 火事のもと

○ お出かけの時はかならずスイッチを切つてから……  
○ 停電の時はとくに注意し、使用した電熱器具のスイッチを切りましょう。  
○ 安全器のヒューズ代りに針金などを使用していませんか？ 電気を使い過ぎてもヒューズが切れないので危険です。

## 教員移動

### 小学校 (敬称略)

- 岡田 安正 (文間小→湧小)
- 宮本 虎男 (湧小→牛久一中)
- 上武 芳夫 (新東小→長小)
- 山口竜四郎 (金小→新東小)
- 鈴木 裕司 (金小→大宮小)
- 环 正枝 (鹿島→生小)
- 伊藤六子彦 (北文間小→長小)
- 本橋喜代子 (湧小→金小)
- 宮本 要 (長小→金小)
- 小出りつ子 (生小→神立)
- 田崎とし子 (長小→東茨城)
- 松田 照恵 (金小→江小)

### 中学校

- 唯根 徹 (河中→牛久一中)
- 助川 孝子 (河中→城南中)
- 中野満寿子 (金中→江中)
- 中島 美明 (東中→河中)
- 松本 直士 (新利根中→)
- 椎塚 聰夫 (西中→金中)
- 関野 幸子 (河中に新採)
- 駐在さん移動
- 源清田の木村巡末 本署へ

○ 貴重な電気を安全に無駄なく上手に使いましよう。

## あなたも

### 書道教室へ

社会教育の一端として、毎月一回中央公民館で開かれてる書道教室、回を重ねるごとに参加者も増え、ことごとしよりの新入生が増えています。若いあなたも参加してみませんか。申し込みは中央公民館社教係へどうぞ。



## 刀水俳句

如月や日もすがらなる頬冠	文島 文子
きざらぎの髪りあかりに馬がゐて	高橋 正弘
沖雲のはたして春の雷争む	野平 和風
春雷や処女のごとくに走りけり	小原 可道
春雷や酔わねば吐けぬ男の苦	大原 辰光
如月や二日つづきのとろく汁	野沢 一風
きざらぎや挽きかえて手にしたる星	飯塚 仙峰

(前ページよりつづく)  
副賞 アルバム

### ● 標 語

#### (1) 応募要領

- ① 官製はがき一枚一点のみ記入すること。
- ② 応募者は住所、氏名を必ず記入すること
- ③ 小、中学生は学校名、学年を記入すること。
- ④ しめきりは、昭和五十年五月二十六日(当日の消印有効)

#### (2) 賞 金

- 入選 三名 各一万円
- 佳作 多数 記念品
- ただし、同一作品多数の場合は抽選によって決定します。

#### ◎ 応募作品の送り先

総理府統計局内  
東京都牛込局区内  
一六二  
入選作品の発表

昭和五十年六月二十五日付の官報に発表、入選者には別途通知あり。

#### ● 問い合わせ先

東京都新宿区若松町九五  
総理府統計局国勢統計課  
電話〇三—一〇二—  
一一一—番  
(内線二六八又は二七四)